

第2回地域福祉支援計画評価委員会における委員意見への対応

資料3

No.	第2回評価委員会における委員意見	委員名	対応区分	対応案	担当課
<孤独・孤立対策> <自殺対策>					
1	「ふじのくに孤独・孤立対策プラットフォーム」では、多くの組織が参画して知恵を出し合うことが必要だと思うので、NPO、企業や社会福祉法人など多様な主体が参画できることを広報してほしい。	諸田委員	中間見直しに反映	御意見を踏まえ、「ふじのくに孤独・孤立対策プラットフォーム」の取組についてコラムを追加しました。併せて、プラットフォームの特設サイトを開設し、様々な団体が参加したワークショップの開催レポートや、活動団体の取組を発信していくことで、多様な主体の参画を促していきます。(P28)	福祉長寿政策課
2	住民だからこそ気付く早期発見があり、今後は専門職と住民との連携も重要となる。孤独・孤立対策プラットフォームも最終的には住民との意見交換が出来れば、早期発見から自殺予防までつながる。	守谷委員	中間見直しに反映	御意見を踏まえ、住民により身近な市町単位での孤独・孤立対策を促進していく旨を、計画に追記しました。(P27)	福祉長寿政策課
3	コロナの影響で職を失い、再就職に苦労してうつ病や依存症を発生し自殺する方もいる。職を失った後のフォローや予防的な対策など、自殺対策はどこに焦点を当てるかが重要。	諸田委員	御意見の趣旨を踏まえ取り組む	2022年の自殺者数では、中高年が増加しているため、経済団体と連携したゲートキーパー養成やメディアを活用した自殺予防に関する情報発信を強化していきます。また、若年層はほぼ横ばいで推移しているため、LINE相談等による相談窓口を充実するなど、若年層の自殺対策に取り組んでいきます。	障害福祉課
4	孤独を感じている方が多く、貧困や孤独の連鎖が自殺に結びついているかもしれない。その時々での支援ではなく、ライフサイクルに応じた長期スパンでの対策も重要ではないか。	五味委員	中間見直しに反映	孤独・孤立は人生のあらゆる場面で誰にでも起こり得るものであり、それぞれのライフステージや生活環境・悩みに応じてきめ細かな施策の推進が必要である旨を追記しました。(P50)	福祉長寿政策課
5	福祉教育が重要であり、現場での体験がないと命の希薄性や人と繋がることの重要性が伝わらない。社会の変化に対応して、施策とともに取組についても考える必要がある。	見野委員	中間見直しに反映	中間見直しにおいて、小学生の親子を対象とした介護の仕事体験プログラムを県内に普及し、市町や介護事業所における福祉職に関する学びの機会を拡大する取組を追記することとしています。(P12)	介護保険課

<重層的支援体制整備事業>

6	孤独・孤立、ヤングケアラー、認知症などの様々な課題が、現場では重層的支援体制整備事業における支援会議に集約されている。複合課題についてどこにつなげば解決に繋がるのか理解していない人が多く、本事業の周知が重要。	土屋委員	中間見直しに反映	中間見直しにおいて、市町の重層的支援体制整備事業について、その趣旨や必要性を周知しながら実施を促進していく旨を追記することとしています。(P43)	福祉長寿政策課
7	重層的支援体制整備事業は福祉課題以外にも対応するものである。福祉課題の解決からの観点とまちづくりの観点が融合するものであることを、市町に伝えていくことも重要。	土屋委員	中間見直しに反映	御意見を踏まえ、重層的支援体制整備事業の地域づくりにおいては、福祉の領域を超えて地域全体を俯瞰する視点が不可欠であり、他分野との連携・協働を強化することが必要である旨を追記しました。(P40)	福祉長寿政策課
8	市町における庁内連携ができていないと重層的支援体制整備事業の実施につながらない。関係機関の庁内連携会議の創設を働きかけ支援してほしい。	守谷委員	中間見直しに反映	御意見を踏まえ、焼津市における庁内連携体制構築の取組についてコラムを追加しました。好事例の紹介や横展開などにより、市町における体制構築を支援していきます。(P40)	福祉長寿政策課

第2回地域福祉支援計画評価委員会における委員意見への対応

資料3

No.	第2回評価委員会における委員意見	委員名	対応区分	対応案	担当課
<地域づくり>					
9	地域における役員の任期が短いため、地域の課題解決やまちづくり協議会の設置までつながらない。民生委員はまちづくりに携わって支援につなげることができると思うが、そのような仕掛けが構築できるか。	岩倉委員	御意見の趣旨を踏まえ取り組む	様々な担い手が連携・協力しながら地域づくり活動を進めるためのプラットフォームづくりに取り組む市町を支援します。	地域振興課
10	計画本文にまちづくり協議会など住民組織の記載があると、県民に届いたときに自分たちも関わっていることを意識するのではないか。	守谷委員	中間見直しに反映	御意見を踏まえ、地域の生活課題解決に向けた多様な主体の連携について「まちづくり協議会」の記述を追加しました。(P6, 17)	福祉長寿政策課
11	地域づくりは人づくりにもつながるものであり、地域づくりに向けた市町のプランが重要。	見野委員	中間見直しに反映	御意見を踏まえ、重層的支援体制整備事業の地域づくりにおいては、福祉の領域を超えて地域全体を俯瞰する視点が不可欠であり、他分野との連携・協働を強化することが必要である旨を追記しました。(P40)	福祉長寿政策課
<福祉人材確保>					
12	現役世代が減っていく地域は人材確保がむずかしく、県内の地域差を縮めていくことの支援が重要。外国人介護人材の確保もこれから重要となってくるが、数値目標の設定はあるか。	竹内委員	中間見直しに反映	御意見をふまえ、新たな指標として「EPA、特定技能等による外国人介護職員の県内受入者数」を追加しました。(P72)	介護保険課
<認知症基本法>					
13	令和5年6月に成立した認知症基本法についての記載が必要ではないか。	松田委員	中間見直しに反映	御意見を踏まえ、令和6年1月に施行された認知症基本法の趣旨に基づき、認知症バリアフリーと企業における認知症の理解を促進していく旨を追記しました。(P40, 42, 46)	福祉長寿政策課
<災害時対応>					
14	要配慮者の個別避難計画策定が少ない状況にある。誰がどのような状態にあって具体的にどのような支援をするのか、防災関係者の共有が大事。	岩倉委員	御意見の趣旨を踏まえ取り組む	個別避難計画の策定促進と計画の実効性向上を図るため、防災と福祉が連携した市町の取組を支援していきます。	健康福祉部企画政策課
15	被災された方々に対する見守りや相談についての記載も重要。	松田委員	中間見直しに反映	御意見を踏まえ、被災者に対する見守り・相談対応や課題の解消に向け継続的に支援する災害ケースマネジメントの普及を図る旨を追記しました。(P36)	福祉長寿政策課
<居場所づくり>					
16	都会だけでなく、住民同士の交流がなくなってきて、住民同士の顔が見えず、高齢者との接触がない。高齢化により高齢者は増えて孤独者も増える。皆が集まれる居場所づくりが必要。	中村委員	中間見直しに反映	御意見を踏まえ、磐田市における居場所の取組についてコラムを追記しました。居場所や高齢者サロン、交流の場等の地域活動の拠点について、既存施設等の活用も図りながら、整備を促進していきます。(P20)	福祉長寿政策課
<取組の見える化>					
17	良い庁内連携の取組や居場所づくりについて、コラムで見える化することなどを事務局で検討してほしい。	委員長	中間見直しに反映	御意見を踏まえ、磐田市における居場所、焼津市における連携体制、本県における孤独・孤立対策の取組についてコラムを追加しました。(P20, 28, 44)	福祉長寿政策課